

## ～温室効果ガスの排出削減を目指して～ 町役場のエコチャレンジ・プランを策定しました

### 【計画の概要】

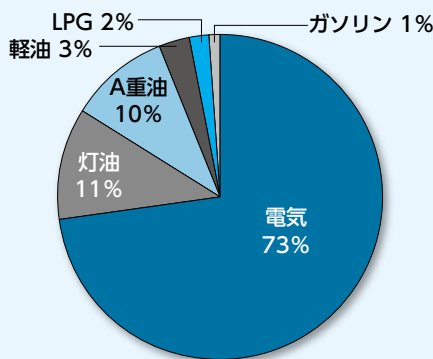
**目標** 庁舎など町の施設から出る二酸化炭素排出量を、平成26年度を基準年度として、平成32年度までの計画期間中に5%削減します。  
平成26年度の二酸化炭素排出量:6,658,757kg → 目標排出量:6,325,819kg  
(削減目標 △332,938kg)

**対象** 町の施設、公用車など

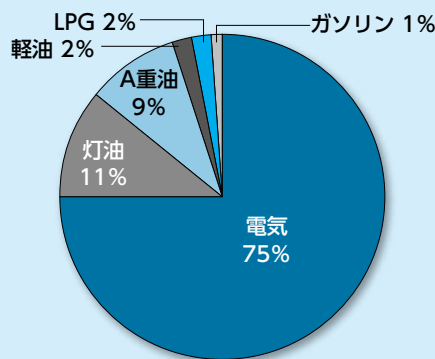
### 【平成26年度(基準年度)および平成27年度の二酸化炭素排出量】

項目	平成26年度(基準値)		平成27年度	
	使用量	二酸化炭素排出量	使用量	二酸化炭素排出量
ガソリン	31,815.4ℓ	73,865kg	29,879.8ℓ	69,371kg
軽油	62,760.4ℓ	162,233kg	44,139.1ℓ	114,098kg
灯油	299,789.2ℓ	746,320kg	272,481.8ℓ	678,339kg
A重油	253,730.0ℓ	687,514kg	219,434.0ℓ	594,585kg
LPG	26,277.7m <sup>3</sup>	156,820kg	25,917.9m <sup>3</sup>	154,673kg
電気	8,175,981kwh	4,832,005kg	7,965,701kwh	4,707,729kg
排出量合計	—	6,658,757kg	—	6,318,795kg

平成26年度要因別の排出状況



平成27年度要因別の排出状況



平成27年度削減率 H27排出量(6,318,795kg) / H26排出量(6,658,757kg) ≒ △5.1%

町が所有する施設や公用車を合わせると、全体で△5.1%の削減結果となりました。

平成26年度と27年度を比較すると、変化が大きかったのは、庁舎移転に関連するものでした。旧本庁舎、旧第二庁舎、旧保健センターでの二酸化炭素排出量が減少した反面、機能的な庁舎が完成したことから、庁舎移転関連では二酸化炭素排出量が増加しました。

二酸化炭素排出量の圧倒的な割合を占めるのが電気です。(全体の7割以上) 昼時間の事務室消灯などについて、皆様のご理解をお願いします。

町は、今年4月に、5年間を計画期間とする「紫波町エコチャレンジ・プラン」を策定しました。これは「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、町の組織および施設における全ての事務・事業から発生する二酸化炭素の排出を抑制することを目的としたものです。

【問合せ】 環境課 循環政策室 ☎672-2111 内線2250